

2026年度 北海道・東北地区研究会

SPECIAL LECTURE

外国人住民が増える北海道

ー 地域特性から考える日本語教育の現状と課題



2026.12.19 SAT 13:00 - 14:30

藤女子大学 北16条キャンパス 5階 551教室 (ハイブリッド開催)

北18条駅 徒歩4分

話題提供者

副田 恵理子

藤女子大学 文学部 日本語・日本文学科 教授 (日本語教員養成課程 主任)

講演概要

現在、全国的に在留外国人が増加する中、外国人を地域社会の一員として受け入れ、共に暮らしていくための支援体制の整備が進められています。その中で、日本語を学ぶ機会が最大限に確保され、一定の質の日本語教育を受けられるよう、2019年には「日本語教育の推進に関する法律」が制定され、国や自治体によるさまざまな取り組みが進められています。

北海道でも在留外国人は急速に増加しており、外国人が広い地域に散住していることに加え、在留資格や生活環境、日本語学習のニーズも多様であることから、こうした特性を踏まえた地域日本語教育のあり方が求められています。

今回は、北海道の現状を踏まえながら、日本語を学ぶ機会を今後どのように整備していくべきなのか、そして、そのためにどのような課題に取り組んでいく必要があるのかについて考えます。

PROFILE / 話題提供者プロフィール

副田恵理子 (藤女子大学文学部日本語・日本文学科教授 (日本語教員養成課程主任))。モナシュ大学人文学部応用言語学専攻修士課程を修了。2000年から北海道で日本語教育、日本語教員養成に携わる。現在は「札幌の地域日本語教育を考える会」「北海道・東北ブロック日本語教師養成実施機関連絡協議会 (通称: HoT-JeT)」のメンバーとしても活動。著書に『社会を築くことばの教育: 日本語教員養成のこれまでの30年、これからの30年』などがある。

参加ご希望の方は、以下のQRコードでお申し込みいただくか、
奴久妻 (shunsukenuku@gmail.com) までご連絡ください。

